

東京医療保健大学医療保健学部看護学科

学科試験

実施せず

面接

受験生 1人に対して面接者 2人 / 10分
 (質問内容) 学校志望理由・看護志望理由・理想の看護師・医療保健学部看護学科を志望した理由・小論文はどうだったか・評定平均が高いが、どのように勉強してきたか・好きな教科・部活で頑張ったこと・部活動について、うまくいったときどうしたか、うまくいかなかったときどうしたか・部活をしていて良かったこと・大学入学後どのように勉強していくか・ボランティア活動は部活の一環か・ボランティアで学んだことは何か・高校での勉強方法・他者と意見が食い違ったらどうするか、下の立場に立ったらどうするか・公募推薦に向けて何を勉強したか・自己PR、など

先輩から一言

控室はそれぞれずれていることは違いました。面接者の方は2人とも女性でとても優しく、和やかな雰囲気でした。少し難しい質問に詰まってしまった時に、「すみません」とひとこと言ったら「大丈夫ですよ」と言って笑ってくれました。メモをとるというよりは顔を上げて話を聞いて下さいました。基本的には質問は一般的なものできちんと対策しておけば大丈夫です。何度も面接練習をすれば、自信に繋がるので頑張って下さい。

①日本とフランスの合計特殊出生率の図を読み取り、以下の設問に答える
 問1. 年次推移について述べる。(100字～130字) 問2. 計算問題
 ②新聞記事を読み、以下の設問に答える 問1. 記事から読み取れるフランスの対策を3つ述べる 問2. グラフから読み取れる年齢別の特徴を述べる 問3. (1) フランスの対策を日本で導入することでお勧めする事とその理由について自分の考えを述べる。(160字～200字) (2) 好転しない事とその理由について自分の考えを述べる。(160字～200字)

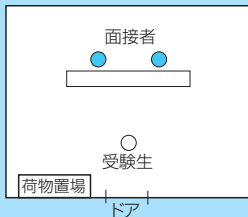
先輩から一言

試験の1ヵ月くらい前から、社会などの教科書や資料集のグラフを見て、200～300字で書く練習を1日2題行っていました。小論文は時間が勝負なので、練習の時にはきちんと時間を計っていました。また、現社の先生に毎回添削をお願いしました。過去問にも沢山取り組み、早く書くことや図や表の読み取りに慣れておくことが必要です。今回は字数制限されているものもあり、さていいものもありました。

先輩からのアドバイス

当日は朝の受付が少し混みますので、早めに着くようにして下さい。もし雨が降っていたら折り畳み傘の方が邪魔にならないのでお勧めです。受験番号が早いと集合時間から小論文や面接への時間が短いので、気持ちを切り替え集中することが大切です。たとえ小論文で上手くいかなくても、面接の配点も多いので諦めずに、自分の伝えたいことを面接で伝えられるようにすると良いと思います。面接では部屋に入ったときに練習よりも大きく笑顔で挨拶しました。そうした方が後々話す時も大きな声で話せると思います。小論文も、面接も、何度も練習をしていけば、自信を持って本番に臨めると思います。笑顔を忘れずに頑張ってください。

面接試験会場見取り図



学科試験

実施せず

面接

受験生 1人に対して面接者 2人 / 10分
 (質問内容) なぜ看護師になろうと思ったのか・なぜこの大学を志望したのか・世の中に職がたくさんあるのになぜ看護職なのか・今までで1番印象に残った看護師について・チーム医療における看護師の役割は何か・助産師志望理由・勉強は今までどんな事をしたのか・勉強以外に大学に入ってやりたいことはあるか、どんな大学生活にしたいか・体力に自信はあるか・大学を知ったきっかけ、何に参加したか・短所とそれを直すために何をしたか・オープンキャンパスの印象・部活で学んだことを今後どう活かしていけそうか・小論文対策は何をしたか・小論文の出来はどうだったか・看護体験で受けた印象・部活動について・あなたの強みは何か、など

先輩から一言

1時間以上待ちました。試験会場で待たされます。面接会場には荷物を持って行くので、荷物を持った状態での練習をしておくとうれしいと思います。面接者は2人とも女性で交互に質問をされるので両方を見て話すように心がけました。考えてきた答えを話すのではなく、なるべくその場で思ったことを話すようにしました。

小論文

救急車の有料化について 60分・横書き

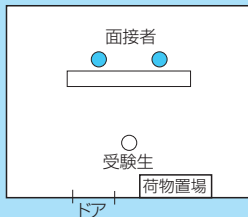
先輩から一言

ひたすらキーワードなどを調べて内容を把握するべきだと思います。書き方も何回も同じ問題を使って練習するべきだと思います。

先輩からのアドバイス

公募に向けて良い練習になるのでAOは積極的に受けましょう。小論文の練習はやればやるほど力がつくので早いうちから練習しておいた方が良いでしょう。面接は笑顔心掛けましょう。

面接試験会場見取り図



東京医療保健大学医療保健学部看護学科

学科試験

《英語 I II・英語表現／60分》空欄補充・脱文補充・内容一致・長文読解2問・並び替え6問・文法・会話、など《国語①・数学 I A・(化学基礎・化学)・(生物基礎・生物)～2／合わせて120分》〈国語〉文章読解2題(「国文学史講話の序」西田幾多郎著、「仕事のくだらなさとの戦い」佐藤和夫著)、など〈生物〉色素・ヒトゲノム・臓器・発酵・PCR法・目、など

●先輩から一言

英語は必修で、選択科目は2科目で120分です。問題数が多いので過去問を何度も解いて、自分なりに解く順序を決めておくといいです。文法も並び替えも基本的なことを問われるので参考書を1冊仕上げました。国語は漢字の書き取りを練習しておくといいです。生物は昨年度より難しくなった印象がありましたが基礎をしっかりと固めておくことが重要だと思います。

面接

実施せず

小論文

実施せず

その他

〈アンケート〉併願校・試験官・会場について、など

■先輩からのアドバイス

会場内は暖かくて丁度良かったです。トイレは混むので早めに行きましょう。学科試験は全体的にセンター試験と同じレベルでした。ただ生物はかなり詳しくないと解けない問題があるので量をこなすようにして下さい。選択科目は120分で2科目なので時間配分を決めましょう。それぞれの教科で参考書を最低1冊は、しっかり仕上げて落ち着いて解けば大丈夫だと思います。

東京医療保健大学東が丘・立川看護学部看護学科 臨床看護学コース・災害看護学コース

学科試験

【公募】《総合問題／60分》記号の中からアンデス山脈(高原)の位置を選ぶ・オーストラリア・アルゼンチン・インド・リビアの気候図を選択・ヘモグロビンの解離曲線を見てアンデス山脈に住んでいる人は、曲線は左右どちらに動くか・肺活量・血糖値(筆記)・16世紀のスペインの産業(選択)・16世紀のスペインで流行した感染症(選択)・スペインがアンデス高地を植民地にしたのはなぜか(選択)・アンデス山脈の人の体の特徴、理由・アンデス山脈に18世紀頃スペイン人が侵略したがそこで栄えた農作業は何か、など

【指定校実施せず】

●先輩から一言

生物基礎、世界史、地理、保健体育から出題されました。常識問題もあります。学科試験のように決まった勉強法が無かったので、とにかく新聞やニュースを見たり、小論文のテーマなどが書いてある本を見ていました。焦らずにやれば大丈夫です。主に看護・医療系のことが出題されると思いますが、何が出題されるかは当日になってみないと分からないので、看護・医療だけではなく、幅広く知識を付けることをお勧めします。

面接

受験生1人に対して面接者3人／5分

【質問内容】学校の志望動機・看護師の志望動機・理想の看護師像・長所、短所・短所をどのように改善したいか・(卒業研究で災害看護師のことを調べたと言ったので)被災地のために何をしたいか・(募金をしたと言ったので)そのお金をどのように使ってほしいか・家から学校までそんなに近くないのにどうしてこの学校を志望したのか・災害看護とは何か・待ち時間に何をしていたか・女性が社会で働くことについてどう考えているか・初めての場所に入ったときに周りの人とはどのようにするか・大学に入学したら今まで支えてくれた人が身近にいなくなるが、どうしていくか・大学に入学したら何に力を入れていきたいか、など

●先輩から一言

面接会場は2つの階に分かれています。控室はとても静かで、自分の持ってきた面接ノートを見ている人が多かったです。面接者の人は全員女の人で、3対1で少し怖い気もしたのですが笑顔で受け答えをしてくれましたので、安心して面接が出来ました。落ち着いて笑顔でやれば大丈夫だと思います。目配りにも気をつけて下さい。調査書と推薦書をもとに1人ずつ順番に質問されました。練習は多ければ多い方がいいですが、棒読みになりにくいように気を付けて下さい。自分が用意してきた話の中から質問が展開されるので、何を聞かれても落ち着いて答えられるようにしておいて下さい。

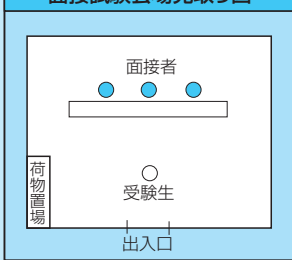
【アンケート】マークシート方式(合否に関係なし)・学校を知ったきっかけ・志望順位、など

その他

●先輩からのアドバイス

他大学とは異なり総合問題という特殊な試験があります。対策するのは大変ですが、読み解く力をつけるために看護系の小論文を解くことで自信が付くと思います。一般常識の勉強も総合問題対策として役立ちます。来年の試験形式は予測がつかないので、色々な問題やテーマを書く練習をした方がいいです。また、新聞を読むことも大切だと思います。面接は質問の答えに対して突っ込まれるため、そのことも考えて準備するのいいと思います。落ち着いて笑顔で臨むと良いと思います。

面接試験会場見取り図



学科試験

《英語ⅠⅡ・英語表現／60分》Ⅰ文章穴埋め10問・Ⅱ会話文穴埋め5問・Ⅲ長文5問・Ⅳ整序6問・Ⅴ長文5問・Ⅵ穴埋め8問、など《国語①》数学ⅠA・(化学基礎・化学)・(生物基礎・生物)～2/合わせて120分《国語》「国文学史講話の序」(西田幾多郎著)・「仕事のくだらなさとの戦い」(佐藤和夫著)、など《数学》小問・二次関数・ヒストグラフなどのデータ分析、など

●先輩から一言

国語は、少し古い作品から出題していて、古文に近い作品がありました。漢字を選ぶものが多かったです。2科目選択するときの試験では、時間配分は自由なので得意な方を先にやっておくと焦らないと思います。最初の問題にあまり時間をかけすぎない方がいいです。生物は教科書に書いてある実験の内容をよく理解しておくのと良いと思います。

面接

実施せず

小論文

実施せず

その他

〈アンケート〉第一志望はどこか・本校をどこで知ったか、など

●先輩からのアドバイス

焦らず頑張ってください。どの教科も基礎がしっかりと出来ていることが大切です。過去問をたくさん解いて傾向になれることも大事です。試験日が早いので生物の勉強になります。英語は問題数が多いので時間配分に気をつけて下さい。